

科目名		装具演習(OSCE)			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制4年		必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

これまで学習した基礎医学、障害評価学、採型技術、適合技術および適合評価学、接遇、を総合した実技試験を行なう。各ステーションごとに設定された課題、身体評価から装具処方・設計、採型・採寸、適合評価を行なう。また、義肢装具士閣下試験およびISPOに即した内容も踏まえ、カテゴリー1レベルの評価・処方を学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

装具系科目の集大成として、客観的臨床能力評価テスト(OSCE)を実施する。限られた時間内で、装具処方のための障害評価、装具設計、採型そして適合評価の技術・知識・接遇を評価する。

〔講師の実務経験〕

義肢装具士として、川村義肢株式会社に勤務。義肢装具の採型適合業務、福祉用具・車いす、シーティングに経験豊富

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

これまで学習した基礎医学、障害評価学、装具学、採型技術、および適合評価学、接遇、を総合した実習が遂行できる。ステーションごとの各課題を行うことができる。また、ISPOに即した内容も踏まえカテゴリー1レベルの評価・処方ができる。

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	試験の説明と練習問題配布
3	練習問題の発表とフィードバック
4	練習問題の発表とフィードバック
5	練習問題の発表とフィードバック
6	練習問題の発表とフィードバック
7	アセスメント実技復習
8	アセスメント実技復習
9	アセスメント実技復習
10	アセスメント実技復習
11	採型の実技練習
12	採型の実技練習
13	採型の実技練習
14	採型の実技練習
13	採型の実技練習
14	歩行評価の復習
15	歩行評価の復習

【 準備学習・時間外学習 】

事前学習:配布資料による復習と練習問題の実施。

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
装具学 第3版・第4版	加倉井周一 編	医歯薬出版
義肢装具のチェックポイント 第7版・第8版	日本整形外科学会 日本リハビリテーション医学界	医学書院
検査法資料	三田校	三田校

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

終講実技試験:①OSCE実技試験 ②質疑応答能力 ③インフォメーションシート作製 ④オーダーシート作製
終講筆記試験:記述式(120分)
再試験:知識評価